

登録コード	A3594388	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	YE RONGLING
英文授業名	Thesis Research						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					研究活動に必要な学術情報を入手し，それらを読解し説明できるようになる	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					研究活動に必要な学術情報を入手し，それらを読解し説明できるようになる	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					研究活動に必要な学術情報を入手し，それらを読解し説明できるようになる	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					研究活動に必要な学術情報を入手し，それらを読解し説明できるようになる	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	リモートセンシングを用いた栽培管理システムの開発に関する基礎技術を修得する。						
(5)授業計画	1. リモートセンシングの基礎 2. 画像解析の実習 3. 機械学習の応用 4. スマート圃場管理						
(6)自主学習の指針	専攻研究テーマに関連ある文献等を数多く読んでください						
(7)成績評価の基準	下記基準で評価を行う。 秀S:達成目標の水準から見て卓越している 優A:達成目標の水準よりかなり上にある 良B:達成目標の水準よりやや上にある 可C:達成目標の水準にある 不可D:達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある						
(8)事前事後学習の内容	着実な研究実施と得られて結果に関する考察を随時継続する						
(9)テストやレポートの予定	コース卒業前の卒論発表を必ず行う必要があります。 学会等に参加し，研究発表を行うこともあります。						
(10)成績評価の方法	研究遂行能力						
(11)質問、相談への対応および連絡先	叶：ye@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	特になし						
【教科書】	特になし						
【参考書】	特になし						